



平成22年度水道基礎講座（第1回：5月12日～5月14日、第2回：5月26日～28日）

水道事業体、賛助会員の新規採用者及びこれに準ずる方々185名（第1回95名、第2回90名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論Ⅰ～Ⅵ」について研修を実施した。

第887回会誌編集委員会（5月24日）

本誌8月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。



第2回水道施設設計指針改訂特別調査委員会（5月25日）

初めに、議事①「第1回委員会議事録」、議事②「改訂基本方針等の変更」について上程し、事務局案のとおり了承された。

続いて、議事③「小委員会ごとの構成及び主な改訂点（案）」について上程し、各小委員会主査より提出資料に基づいた説明があり、審議の結果、本委員会では出された意見を踏まえ、各小委員会で第一次原稿案の作成に入ることとなった。



最後に、議事④「今後の作業予定」について上程し、事務局案のとおり了承された。

第46回水道 GLP 認定委員会（5月25日）

（社）青森県薬剤師会（認定番号：JWWA-GLP008）、枚方市水道局（認定番号：JWWA-GLP009）の水道 GLP 認定更新について審議を行い、審議の結果、更新（5月30日付）を決定した。

全国水道企業団協議会第54回総会・全国水道企業団協議会50周年記念講演会（5月27日～28日）

全国水道企業団協議会第54回総会が八戸市の八戸グランドホテルにおいて、開催された。

第1日目：開会式では、開催地代表の八戸圏域水道企業団企業長 小林八戸市長、全国水道企業団協議会の尾高会長（神奈川県内広域水道企業団企業長）の挨拶の後、厚生労働大臣、総務大臣、青森県知事、日本水道協会専務理事、日本水道工業団体連合会専務理事より祝辞があった。

続いて表彰式では、全国水道企業団協議会会長表彰として14名の受賞者に対し表彰状と記念品が贈られた。



小林八戸圏域水道
企業団企業長
(八戸市長)



尾高会長
(神奈川県内広域
水道企業団企業長)



粕谷厚生労働省
水道課長



笠井総務省
公営企業経営企画室長



青山青森県副知事



御園日本水道協会
専務理事



坂本日本水道工業
団体連合会専務理事

休憩後、会議に入り「会務報告」の承認を得たのち、「役員改選」について審議し、総会休憩時間中に役員選考委員会を開催することを決定した。続いて「平成21年度歳入歳出決算」、「平成22年度歳入歳出予算（案）」の各議案について審議の結果、原案のとおり決定した。

次に休憩時間中に行われた役員選考委員会について、役員選考委員会委員長の桂沢水道企業団企業長 渡辺岩見沢市長より報告があり、報告のとおり新役員を決定した。なお、新役員は現会長である神奈川県内広域水道企業団 尾高企業長の退任に伴い、新たに新会長として八戸圏域水道企業団企業長 小林市長を選出、更に副会長に北千葉広域水道企業団 岡本

企業長を選出し、他の役員については全員再任された。

その後、会員提出問題討議に入り、問題①「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題②「水道施設の再構築事業等に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題③「水道施設の震災対策事業等に対する財政支援について」、問題④「石綿セメント管更新事業に係る時限措置の延長について」、問題⑤「公営企業借換債制度の実施及び要件緩和並びに政府資金の借換債制度創設等について」、問題⑥「現行補助制度の存続又は地方への一括交付金の直接交付について」、問題⑦「企業団（一部事務組合）職員に係る「子ども手当」に要する経費に対する財源措置について」、問題⑧「ダム事業の見直し等に伴う清算に係る費用負担の軽減について」が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した。その後、厚生労働省健康局粕谷水道課長と総務省自治財政局笠井公営企業経営企画室長よりそれぞれ発言があった。

次に、次期総会開催地については、関東地区協議会の北千葉広域水道企業団を開催地とすることに決定した。

総会終了後、本年が全国水道企業団協議会設立50周年であることを記念して記念講演会が催され、国際変動研究所理事長で軍事アナリストの小川和久氏が「国際水準から見た日本の危機管理について～水道の持続発展のために～」と題して講演した。

第2日目：八戸圏域水道企業団の水道施設等を視察した。



記念講演：小川和久氏

平成22年度浄水場等設備技術実務研修会（6月1日～4日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実施するとともに設備機器の保守・管理について、研修を実施した。

第177回常任理事会（6月2日）

篠田新潟市長が議長となり、報告事項1「第52回水道週間の実施について」、報告事項2「計量法（省令）改正に伴う新基準水道メーターへの対応について」、報告事項3「水道用ポリシリカ鉄の日本水道協会規格の制定（JWWA K 159）について」、報告事項4「積算要領及び標準仕様書の作成について」、報告事項5「第7回 IWA（国際水協会）世界会議・展示会出席並びに水道施設視察のご案内について」、報告事項6「第4回 IWA-ASPIRE 東京会議における参加者募集について」、それぞれ事務局から報告された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成23年度水道関係予算の要望について」、第2



号議案「第62回全国水道研究発表会の開催地及び開催期日について」、がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、民主党、厚生労働省及び総務省に対し陳情を行った。

第136回水道事業管理者協議会（6月3日）

はじめに、議題として「副座長の選任について」を上程し、盛岡市の白根上下水道事業管理者を選任した。

情報交換事項として、①水道事業に係る公益財団法人改革の進め方について、②地方公営企業会計制度等研究会報告書に係る減債積立金への法定積み立て義務の廃止について、③地方公営企業会計制度等研究会報告書に係る退職手当組合に負担金を払っている団体の退職給付引当金について、それぞれ意見交換が行われた。



引き続き、厚生労働省健康局水道課の粕谷課長が、「水道施設・管路耐震性改善運動について」と題し講演を行った。

平成22年度水道事業事務研修会：経営部門Aコース（6月8日～11日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年未満）の方々65名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

第151回水道統計編纂専門委員会（6月11日）

初めに議題①「水道統計の経年分析（平成20年度）」について上程し、事務局より作業分担等について説明があり、事務局案のとおり了承された。

続いて議題②「平成21年度水道統計調査CD-ROM」について上程し、事務局より説明があり、審議の後、事務局案のとおり了承された。



第643回抄録委員会（6月11日）

本誌平成21年9月号、10月号に掲載する外国文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

